

大人の地域再発見誌

vol.13

こうのす

あつ、列車！

Contents

- 2 | **特集「撮り鉄推薦撮影スポット ふきぎょう」**
- 7 | こうのす人 久保 学さん
- 8 | 編集部のおススメ本「鴻巣郷土かるた解説書」
- 9 | 私の好きなこうのすの風景【特別編】
- 10 | こうのす歴史散歩「鴻巣宿の枝郷地名 割府」わっぱ
- 10 | 編集部より

題字
執筆

第48代 勝願寺住職
藤田得三氏

表紙
写真

高崎線吹上元荒川橋梁付近

見慣れた風景がフォトジェニックに！

撮り鉄推薦撮影スポット ふきぎょう

撮影・文章：長島信幸



【鴻巣宿わっぷ地下道】
詳細は、P10の「このす
歴史散歩」にて

「撮り鉄」には有名！ ふきぎょうの魅力とは

高崎駅～大宮駅間を結ぶ「JR 高崎線」は鴻巣市民にとって通勤、通学、レジャーなどで利用する馴染み深い路線です。実は市内を走る区間には、撮り鉄（鉄道写真の愛好家）に人気の撮影スポットが多数あることをご存知でしょうか？代表的なスポットが「ふきぎょう」と呼ばれる、吹上駅～行田駅の区間です。

撮り鉄に愛される理由は大きく分けてふたつ。ひとつ目は「定期運用される電車・電気機関車以外の車両が走行する

こと。」高崎線といえばオレンジと緑のラインの車両ですが、稀に秋田の検査場や新潟の新製工場から、他線を走る車両や新車が移送のために走行します。「〇〇線を走る列車が鴻巣を走ってる！」というレア感がマニア心をくすぐるのです。

ふたつ目は、「日本の原風景と鉄道を絡めて撮影できること。」四季により表情が違ふ田園や、春の元荒川の桜など、鴻巣の美しい風景が鉄道写真をより情緒豊かに演出してくれます。

普段、何気なく見ている鉄道も、場所や角度、季節や時間によって、鉄道ファン以外の方にとってもすばらしい被写体となります。今回の特集ではとびっきりの一枚が撮れる鴻巣の撮影スポットをご紹介します。

あつ、列車！

川岸の桜並木、ノスタルジックな夕暮れの空、どちらも鴻巣の美しい風景ですが、そこに「列車」が映り込むことで、まるで映画のワンシーンのようなとおきの一枚になります。

列車が通るその時が最高のシャッターチャンスです！！



プロ仕様でなくてもOK 押さえておきたいカメラの機能



鉄道写真の特徴は「動いているものを撮る」ということ。ポイントとなるのは「連写機能」と「オートフォーカス」、「レスポンス速度」と「望遠機能」の4つ。コンパクトカメラの中でもこれらの機能を意識して選べば、十分に迫力のある鉄道写真を撮ることができるでしょう。デジタル望遠の機能を使うと「手ぶれ」が気になるところ。三脚があると手ぶれを防ぐことができ、より撮影の幅が広がります。

「撮らせていただく」 撮影はマナーを守って！！



鉄道写真を撮る時には守るべきマナーがあります。駅構内は一般の方が乗降利用する公共スペース。黄色い点字ブロック内での危険な撮影はもちろん、目の前の人を退けることは厳禁です。また沿線での撮影では、鉄道用地内に入っていないか？私有地に無断で入っていないか？三脚を使う場合は他の通行を妨げていないか？など、「撮っている」のではなく「撮らせてもらっている」という気持ちを常に持って撮影に臨みましょう！

エリア別 こうのす シャッタースポット

撮り鉄から アドバイス



カッコいい写真を撮る秘訣は「太陽の出方」。鉄道用語では『バリ順（順光）』といい、車体にまんべんなく光が当たる状態がおすすめです。



①高崎線では2001年9月から運用が開始されたE231系電車



前ページで掲載している、橋梁の下から見上げた写真も「ふきぎょう」にあります。橋梁が低い位置あるので、下からあおるように撮ると迫力ある写真になります。

撮影スポット



イチオシの ふきぎょうエリア

吹上駅～行田駅区間ではアウトカーブを曲がる車両が撮影できます。ただし、車両の編成が長いものになると、後ろのほうの木で隠れてしまいますので撮影前はゆとりを持って撮影ポイントを決めましょう。特に絶景なのが、桜咲く季節の夕方。夕日に染まる桜と列車のコラボは幻想的です。

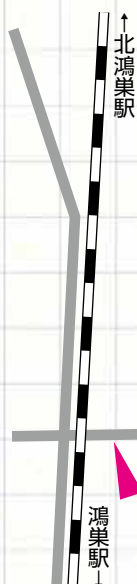


②吹上元荒川橋梁付近のE651系電車・草津号

田んぼと列車の コラボレーション 箕田エリア

箕田で撮るべきポイントは田んぼとのコラボレーション。田植えをしたばかりの時期は水鏡、稲が伸びると緑の絨毯、刈入時期は黄金色と年間を通して楽しめます。水張りは5月終わり、田植えは6月上旬、刈入は9月下旬～10月上旬が目安です。早朝～午前中のバリ順な上り列車と、夕方の逆光での撮影がおすすめです。

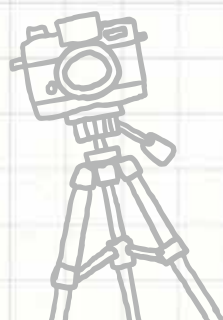
撮影スポット



①無動力の EF65 形電気機関車を従えて走る EH200 形電気機関車



①かつてスーパーひたちで活躍したE651系電車、現在はスローあかぎ、草津号で活躍中





②高崎線では2001年9月から運用が開始されたE231系電車



④高崎線では2012年9月から運用が開始されたE233系電車

撮影スポット



①国鉄色で活躍するEF65-2091電気機関車



③ECO POWERブルーサンダーの愛称で活躍するEH200形電気機関車



⑤金太郎の愛称で人気のあるEH500形電気機関車

直線を走る列車を ダイナミックに撮れる 小松エリア

2km近いアップダウンのある直線が特徴のエリア。望遠やインカーブで撮影すれば、車両の最後尾までを収めた編成写真を撮ることができます。撮影スポットが5つもあるので、場所を移動しながら様々な撮り方ができることもこのエリアの魅力。上りは午前中、下りは午後がおすすめです。

出会えたら
ラッキー？

元ブルートレイン EF65-501

EF65-501は、1964年頃に九州行きブルートレイン（富士号、あさかぜ号等）の牽引の為に作られた機関車です。その任務を解かれた後は貨物列車や臨時列車を牽引していました。現在はJR東日本高崎機関区に所属しており、レール運搬やイベント列車の牽引等で、時折、鴻巣を走行することがあります。出会えたら、ぜひシャッターを！



フキギョウを走行するEF65-501と12系客車の臨時列車

SL 蒸気機関車

Steam Locomotive

C58363

昭和19(1944)年、第二次世界大戦中に製造された蒸気機関車で、製造後は主に東北方面の各路線で活躍しました。昭和52(1977)年12月1日に廃車となり、同年に吹上町立(現鴻巣市)吹上小学校に静態保存機として迎え入れられました。昭和58(1983)年に埼玉県熊谷市で開催されたさいたま博協賛事業として秩父鉄道でのSL列車運転が実現。C58363は牽引機として抜擢され、現在も運転されています。吹上小学校で過ごした仲間は現役時代より長い歴史を今も刻み続けています。

撮影
POINT



SLの撮影は白煙がポイント。気温が低い時期ほど力強い白煙とSLの写真が撮れます。3月下旬から4月上旬の荘厳なSLと淡く優しい桜とのコラボも是非チャレンジしてみてください。

意外と知らない?!鴻巣とSLの関係

今でも乗りにいけるSLと、いつでも会いにいけるSLがある!



DATA

製造年:昭和19年(1944年) / 全長:18,275 mm / 全高:3,900 mm / 総重量:100.20t / 動輪上重量:58.70t / 秩父本線(秩父線) 熊谷駅-三峰口駅間にて毎年、概ね3月中旬から12月初旬の期間に運行

——— 走行中の姿もじっと佇んでいる姿もそれぞれに違った顔をみせてくれる ———



DATA

製造年:昭和21年(1946年) / 全長:12,650mm / 全高:3,900mm / 総重量:66.05t / 動輪上重量:36.96t

C11322

この機関車は製造後、高崎第一機関区に配属され、群馬県・栃木県等に伸びている国鉄ローカル線にて人員輸送と貨物輸送をしていました。その後、神奈川の浜川崎機関区、国鉄大宮工場を経て国鉄が昭和43(1968)年10月、SL廃止方針を決定すると、昭和45(1970)年1月29日から、本市東裏1号公園に展示され、その後平成12(2000)年5月より修復に入り、同年8月28日より、『せせらぎ公園』に展示されることになりました。

撮影
POINT



展示車両は当然のことながら走っている姿はみられませんが、撮影の自由度が高いのが魅力のひとつです。様々な光源(光の当たり具合)、自由なアングル、大胆な切り取り(接写)など自分好みの撮影にチャレンジしましょう

子授け
安産
厄除け

こうのとりのお宮

鴻神社

〒365-0076 埼玉県鴻巣市本宮町1-9

TEL:048-542-7293 / FAX:048-543-2282

<http://www.koujinja.or.jp>



学校法人 鴻巣佐藤学園

鴻巣幼稚園

園長 佐藤 芳隆

〒365-0038 鴻巣市本町6丁目3番4号(東小学校前)

TEL (048) 541-0575 FAX (048) 543-6222

HP <http://www.kounosu-kg.com/>

f 鴻巣幼稚園

幼稚園専用駐車場完備

レストラン なごみのや

—— クレアこうのす入口右側 ——



選べるソースのパスタと各種お食事
ご予算に応じてお弁当・店内貸切パーティー承ります



鴻巣市中央 29-1
TEL 048 (540) 8080



営業時間 11:00~17:00
※17時以降は予約制となります



駐車場
あります

380年の伝統 人形のふるさと鴻巣で最大のお店

ひな人形

広田屋

TEL: 048-541-8888

鴻巣市人形1-6-18 営業時間 9:00~19:00

定休日:5月~10月は月曜日 11月~4月は無休